

エミッションコントロール(1G-FE)

エミッションコントロールシステム	EC-1
機能点検	EC-1
単体点検	EC-3

変更概要

1G-FEエンジンの改良により、マークII、チェイサー、クレスト修理書/追補版(品番62187、1997年8月発行)の内容から次の項目を変更しました。

1. エミッションコントロールシステム

- 機能点検
- 単体点検

(オキシジェンセンサ、パキュームスイッチングバルブASSY No.1(キャニスターバージ用)、チャコールキャニスタASSYの変更)

MEMO

エミッションコントロールシステム

EC015-01

機能点検

1. 空燃比補償装置

<参考>

SSTを使用して「基本点検」の「空燃比補償装置点検」を選択し、点検することもできる。

SST 09991-60100 (09991-60200)

- (a) SSTを接続し、ロータリースイッチをVレンジにセットする。
SST 09082-00030, 09083-00150
- (b) エンジンコントロールコンピュータのOX1AおよびOX2A端子にテスターの“+”テストリード、E1端子に“-”テストリードを接続する。

<注意>

- コンピュータコネクタはコンピュータに接続したままの状態、コネクタ裏側からテストリードを接続する。
 - OX端子は2箇所あり、それぞれのOX端子について点検を行う。
- (c) エンジン回転を2500r/minで2分間保持し、オキシジェンセンサを暖機する。
- (d) エンジン回転を2500r/minで保持し、SSTの指示が0～1V間で変化（フィードバック）することを確認する。

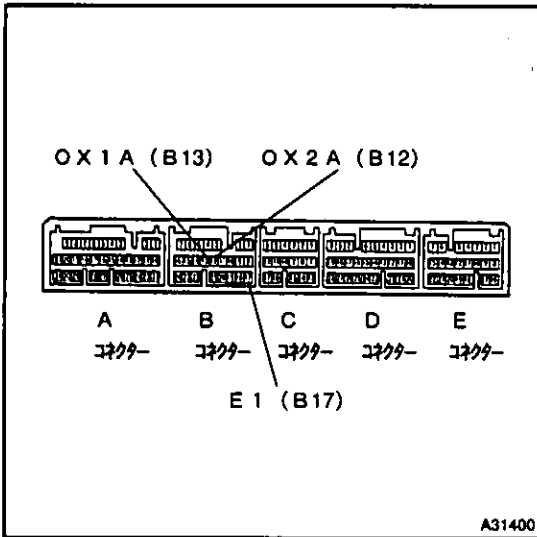
SST 09082-00030, 09083-00150

基準

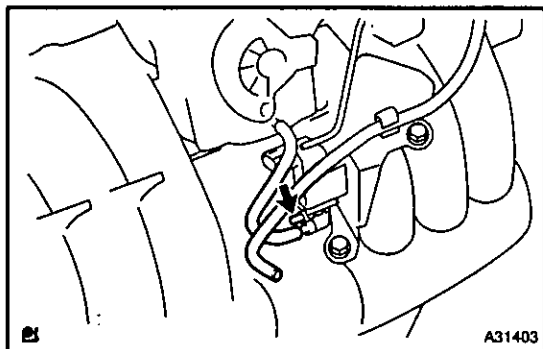
10秒間に8回以上変化する。

<注意>

- オキシジェンセンサが冷えてしまうので暖機作業を再度行い確認する。
 - テスターの指示が変化しない場合は、暖機作業を再度行い確認する。
- ### 2. 減速時制御装置（フューエルカット装置）
- (a) エンジン回転数を約2500r/minにする。
- (b) サウンドスコープを使用して、インジェクタの作動音を確認する。
計器 サウンドスコープ (20801)
- (c) スロットルレバーを離したとき、インジェクタの作動音が一時止まり、再度作動音がすることを確認する。
- ### 3. 燃料蒸発ガス抑止装置
- (a) DLC3にSSTを接続する。
SST 09991-60100 (09991-60200)

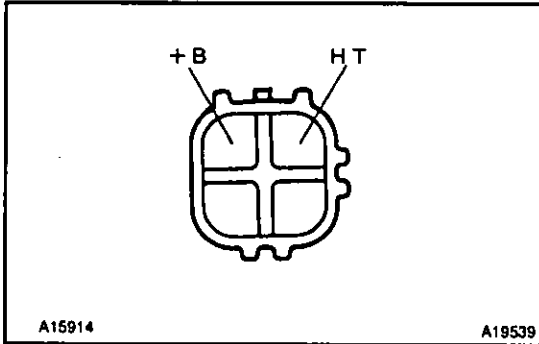


A31400

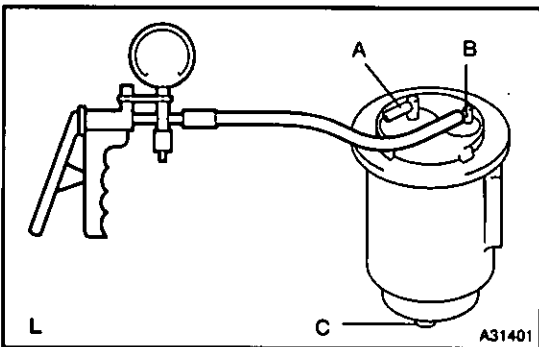


- (b) エンジン始動後、図のバキュームホースを切り離す。
- (c) 画面表示に従ってSSTの操作を行い、「アクティブテスト」-「パーズVSV」を選択し、VSVをONしたとき、VSVのポートに負圧が発生することを確認する。
SST 09991-60100 (09991-60200)
- (d) 点検結果が異常な場合は下記項目を点検する。
<参考>
- VSV (キャニスターパーズ用)
 - バキュームホースのつまり (スロットルボデー⇄VSV)
 - エンジンコントロールコンピューターPRG電圧
- (e) 「アクティブテスト」を終了し、バキュームホースを復元する。
- (f) 画面表示に従って操作を行い、「データモニター」または「データ記録」画面を表示させ、パーズVSVの作動状態が確認できるように「PRG」を選択する。
- (g) 車両を完全暖機後十分に加減速走行させ、VSVが「OFF→ON」になることを確認する。

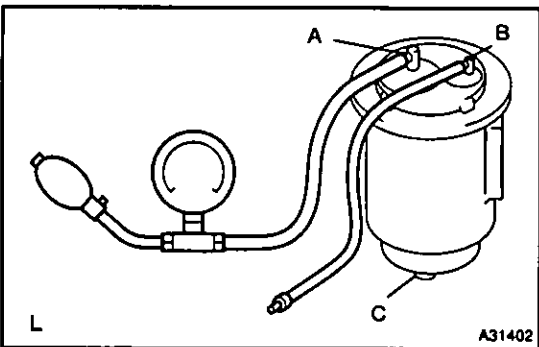
単体点検



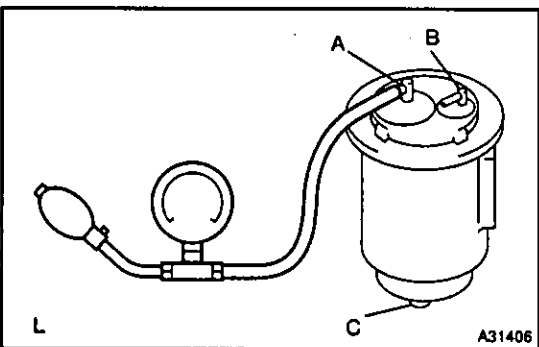
1. オキシジェンセンサ
 - (a) センサーヒーター抵抗点検
 - (1) SSTを使用して、+B⇔HT端子間の抵抗を測定する。
SST 09082-00030
基準値
11~16Ω (常温)
2. バキュームスイッチングバルブASSY No.1 (キャニスターパージ用)
 - (a) 通気点検
 - (1) 端子間にバッテリー電圧をかけて、通気の有無を確認する。
基準
通電時 通気あり
非通電時 通気なし



3. チャコールキャニスタASSY
 - (a) 通気点検
 - (1) Bポートにマイティバックで負圧をかけ、通気があることを確認する。
計器 マイティバック [TB-501]
計器 マイティバック [HVP-1]



- (2) Bポートのホースにホースプラグで栓をし、Aポートにターボチャージャープレッシャーゲージを接続して加圧したときCポートからエアが排出されることを確認する。
工具 ホースプラグセット [09258-00030]
計器 ターボチャージャープレッシャーゲージ [TCP-2TB]



- (3) Aポートにターボチャージャープレッシャーゲージを接続して加圧したときBポート、Cポートからエアが排出されることを確認する。
計器 ターボチャージャープレッシャーゲージ [TCP-2TB]

MEMO